

「東日本大震災に関する影響調査」1月実施 結果概要

相模原商工会議所

相模原商工会議所では、平成23年3月11日に発生した東日本大震災後の相模原市内事業所への二次的被害状況等の実態を把握し、企業連携による復興支援や支援策を検討するまでの基礎データの収集を目的として、相模原市からアンケート調査を受託し実施した。実施は四半期ごとに行い、第1回は5月に、第2回は7月に第3回は10月に実施している。今回は第4回として1月実施の集計結果である。概要は以下の通り。

【調査結果のポイント】

- 東日本大震災の影響が自社に残っているかどうかについて、「影響あり」と31.8%が回答しているのに対し、「影響なし」と46.0%が回答している。また、業種別では、商業・サービス業で「影響あり」が38.2%、「影響なし」が36.8%と、「影響あり」が「影響なし」をわずかに上回っている。
- 東日本大震災の影響が自社に残っているかどうかについて、「影響あり」と答えた事業所の62.2%が「1年以上影響が続く」と回答しており、大震災の影響の長期化を懸念している。また、現在も残っている震災の影響として、「得意先都合や消費マインドの低下による売上減少」が最も多い回答だった。
- 昨年のこの時期に比べ売上が「50%以上減った」「10%～50%程度減った」との回答率が合わせて48.9%あり、うち38.3%が「自粛ムードなど、消費意欲の減少」を理由に挙げている。特に商業・サービス業では「自粛ムードなど、消費意欲の減少」の回答率が58.8%となっている。
- 経営上の問題、課題（上位3位まで）について、1位の回答として「人材確保」が最も多かった。1位～3位の回答全ての合計では、「販路拡大」との回答が最も多く、次いで「資金繰り・金融」となった。

【調査要領】

- 調査期間：平成24年1月10日～1月31日
- 調査対象：相模原市内の事業所約4,500社
- 調査方法：郵送及びインターネットによるアンケート方式
- 回答数：732社

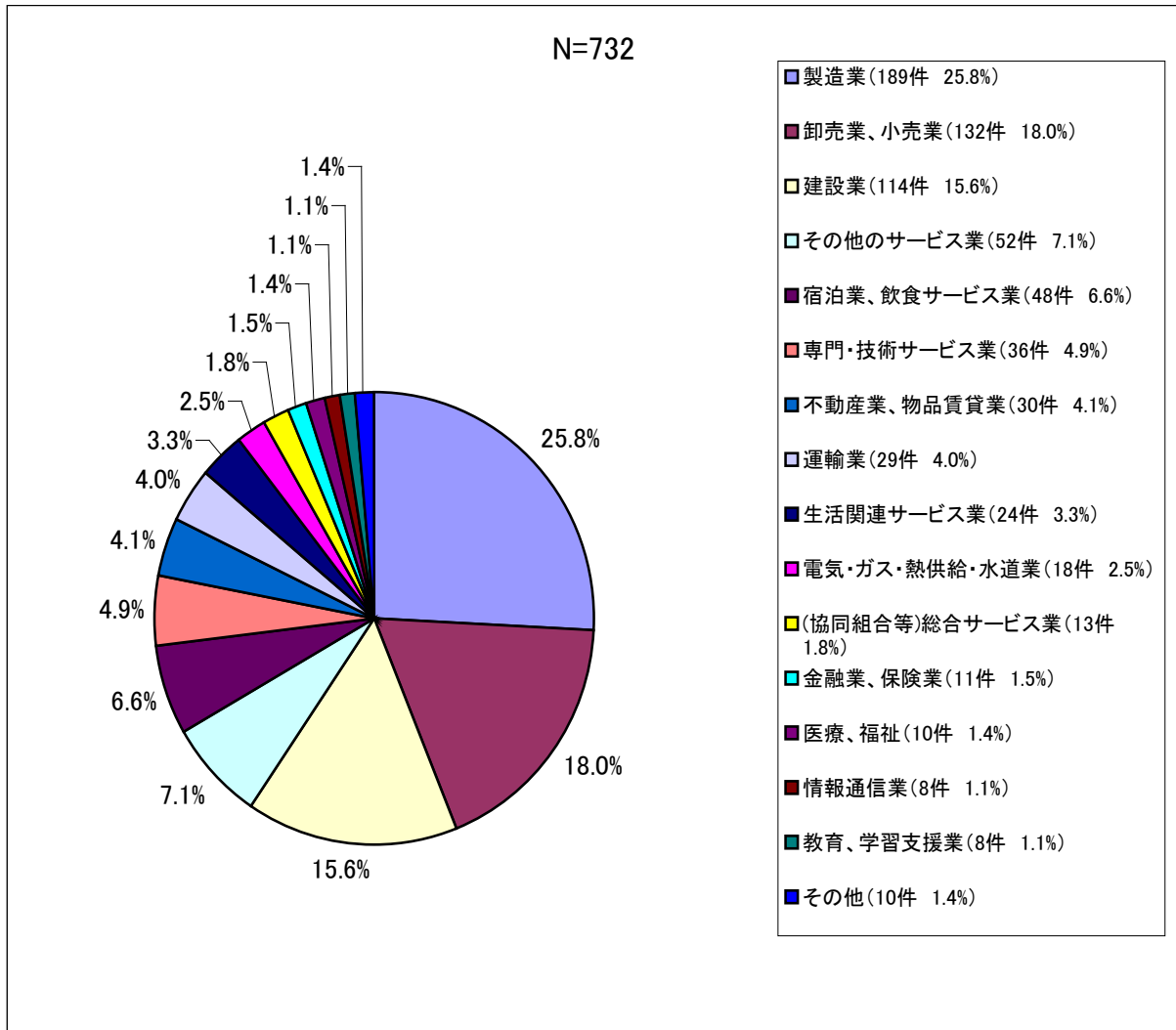
【本件担当】相模原商工会議所 経営支援課

TEL：042-753-8135

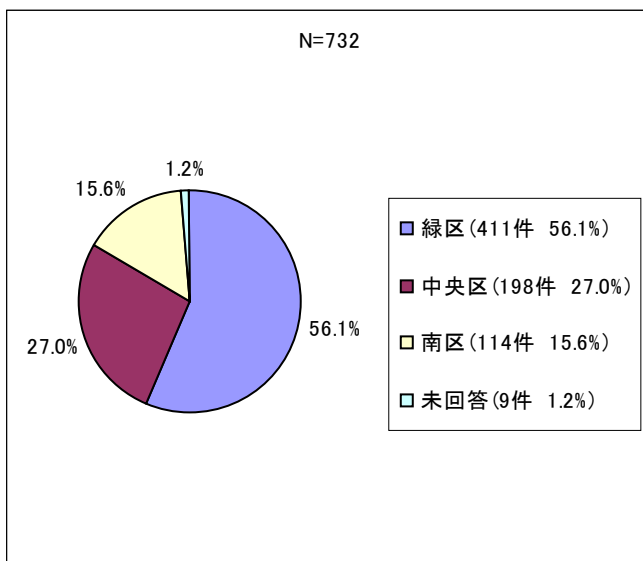
〒252-0239 相模原市中央区中央3-12-3

平成23年度 東日本大震災に関する影響調査（1月実施）集計結果

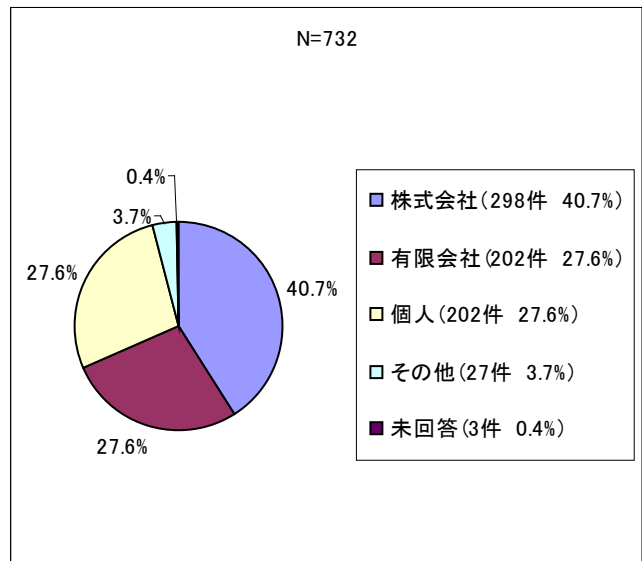
質問1. 業種は何ですか？ *日本標準産業分類による



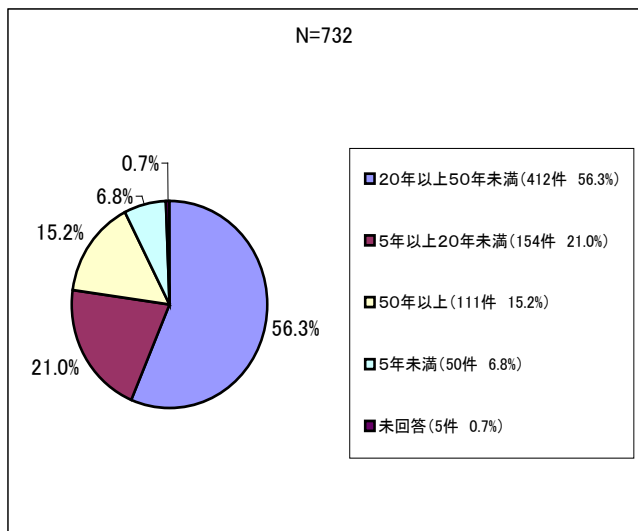
質問2. 所在地(区)はどこですか？



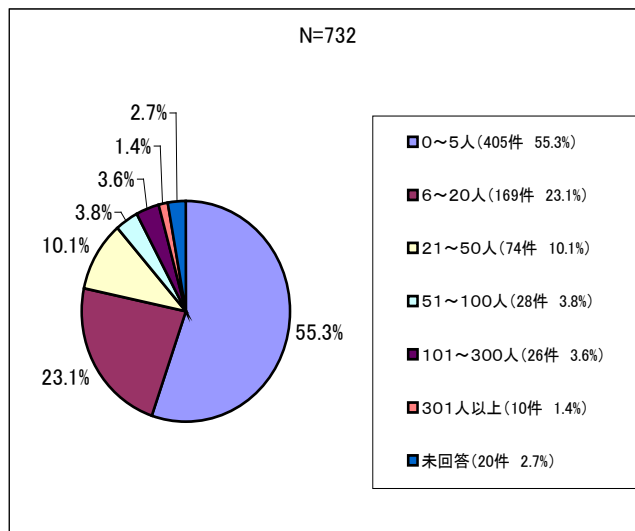
質問3. 事業所形態は次のどれに該当しますか？



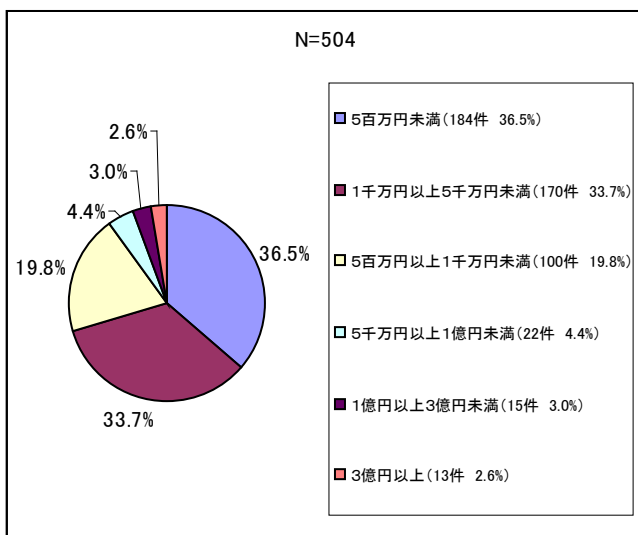
質問4. 創業後何年経過していますか？



質問5. 従業員数は何人ですか？



質問6. (法人の場合) 資本金は？

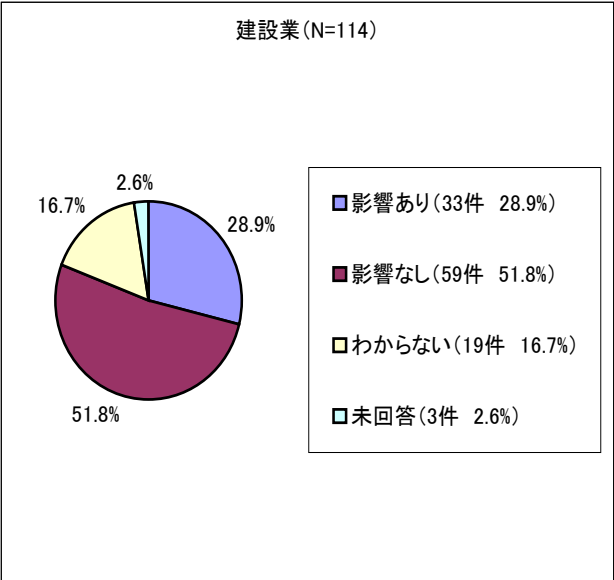
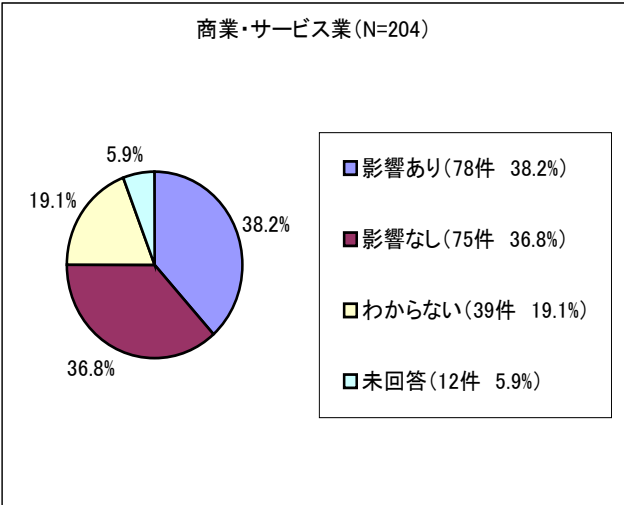
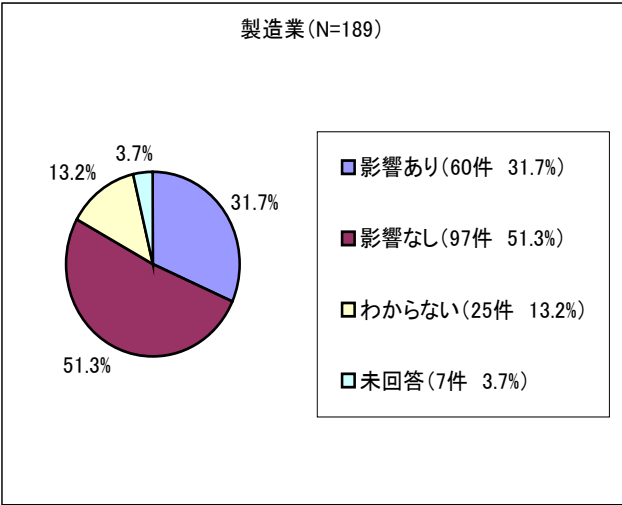
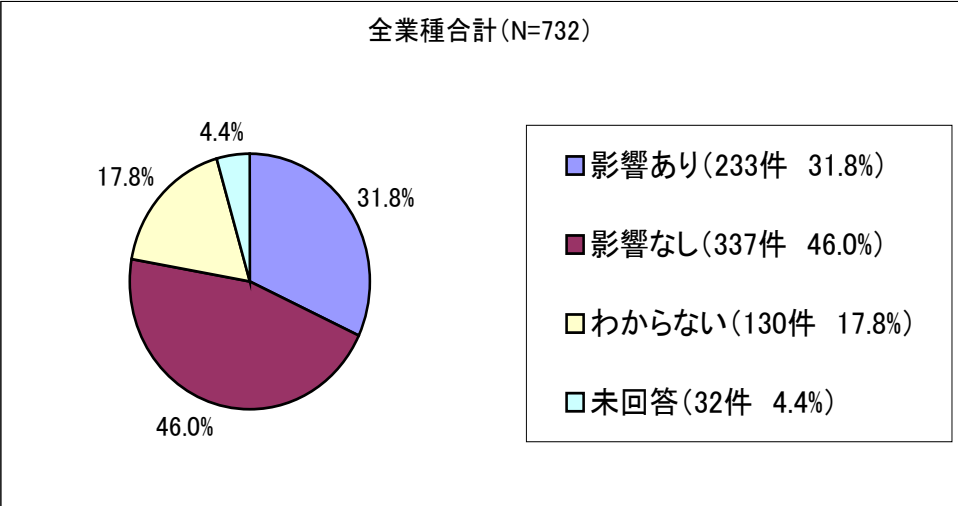


次ページより、全業種合計及び業種ごとの傾向をグラフ・表にて表示する。

なお、業種の傾向をつかむため、卸売業・小売業（132件）、宿泊業・飲食サービス業（48件）、生活関連サービス業（24件）をまとめて「商業サービス業」（204件）とした。

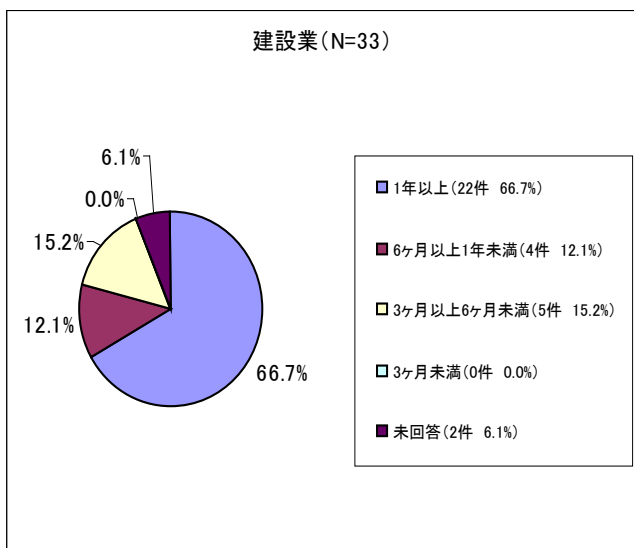
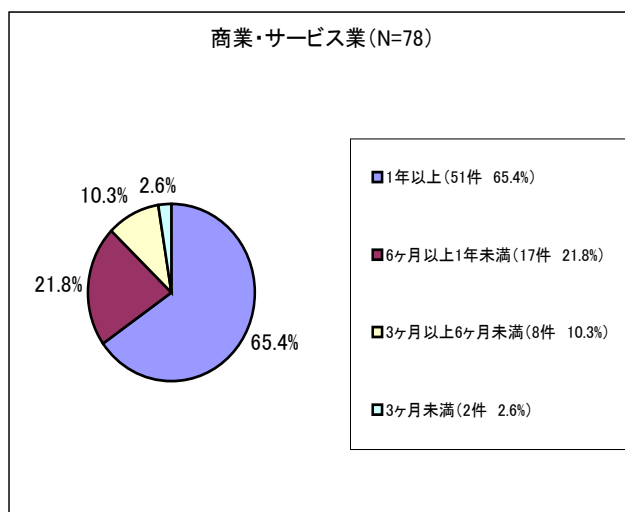
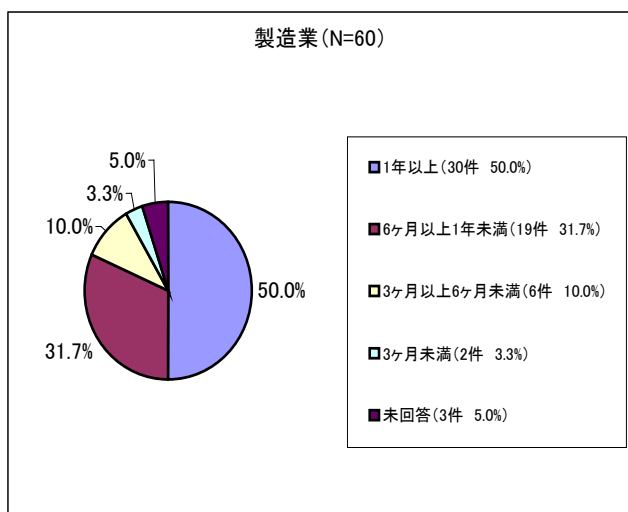
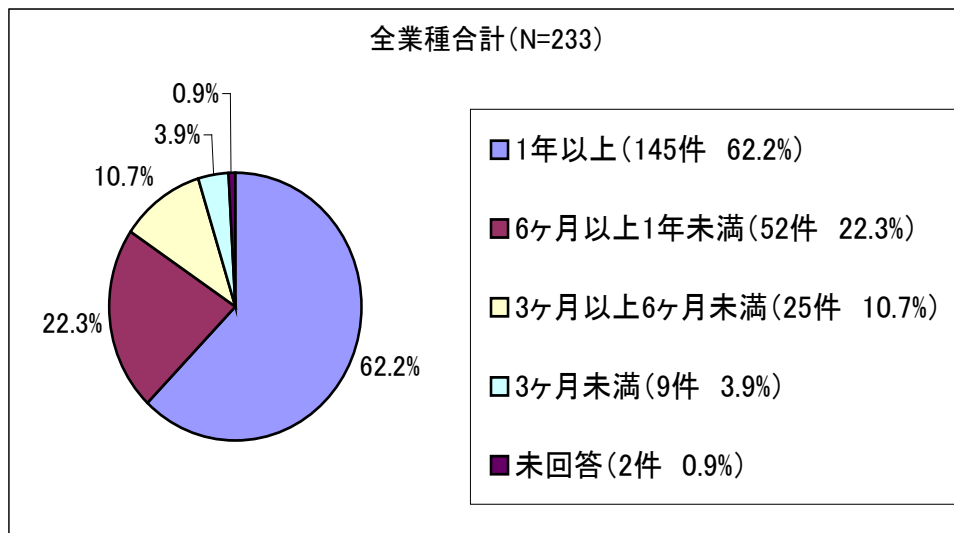
質問7. 東日本大震災の発生による影響が自社に現在も残っていますか

全業種合計で「影響あり」が31.8%、「影響なし」が46.0%となっており、「影響なし」の回答が「影響あり」を上回っている。また、業種別では、製造業と建設業で「影響なし」と回答した事業所がそれぞれ51.3%、51.8%と5割を超えているが、商業・サービス業では「影響なし」が36.8%に対し「影響あり」が38.2%と、「影響あり」の回答が「影響なし」をわずかに上回っている。



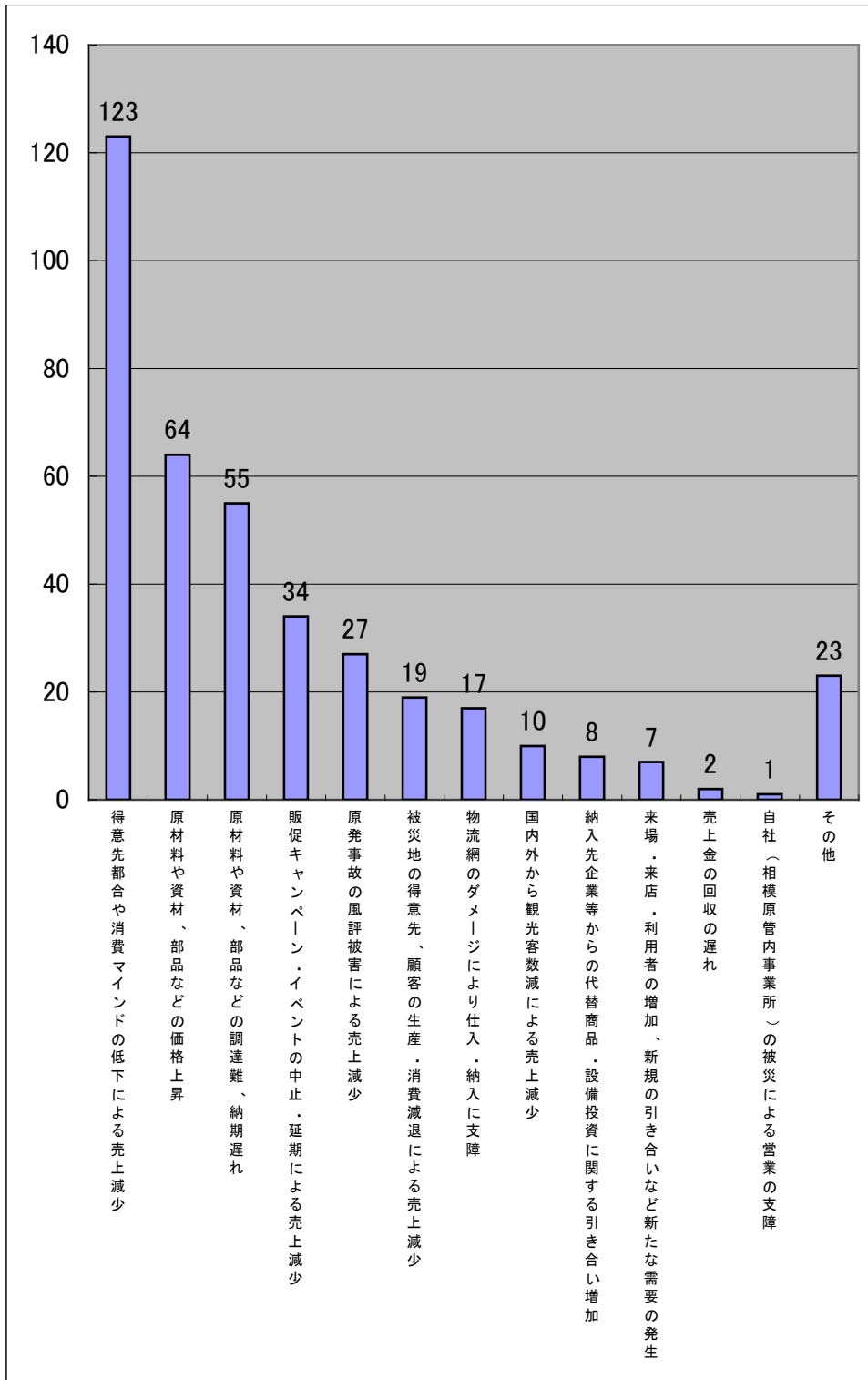
(影響ありと答えた方へ) その影響はどの程度続くと思われますか

全業種合計で「1年以上」が62.2%と最も多く、次いで「6ヶ月以上1年未満」が22.3%となった。業種別では製造業で「1年以上」との回答した事業所が50.0%と、商業・サービス業と建設業に比べ、低い割合となっている。



質問7-2. 質問7で「影響あり」と回答した方にうかがいます。震災の影響として、現在も自社に残っていると思われる項目を選んでください？（複数回答可）
 <対象 233 件>

全業種では「得意先都合や消費マインドの低下による売上減少」が123件と最も多く、次いで「原材料や資材、部品などの価格上昇」が64件となった。
 業種別では、建設業で「原材料や資材、部品などの価格上昇」が最も多い回答となっている。



製造業

順位	項目	回答数
1	得意先都合や消費マインドの低下による売上減少	30
2	原材料や資材、部品などの調達難、納期遅れ	23
3	原材料や資材、部品などの価格上昇	15

商業・サービス業

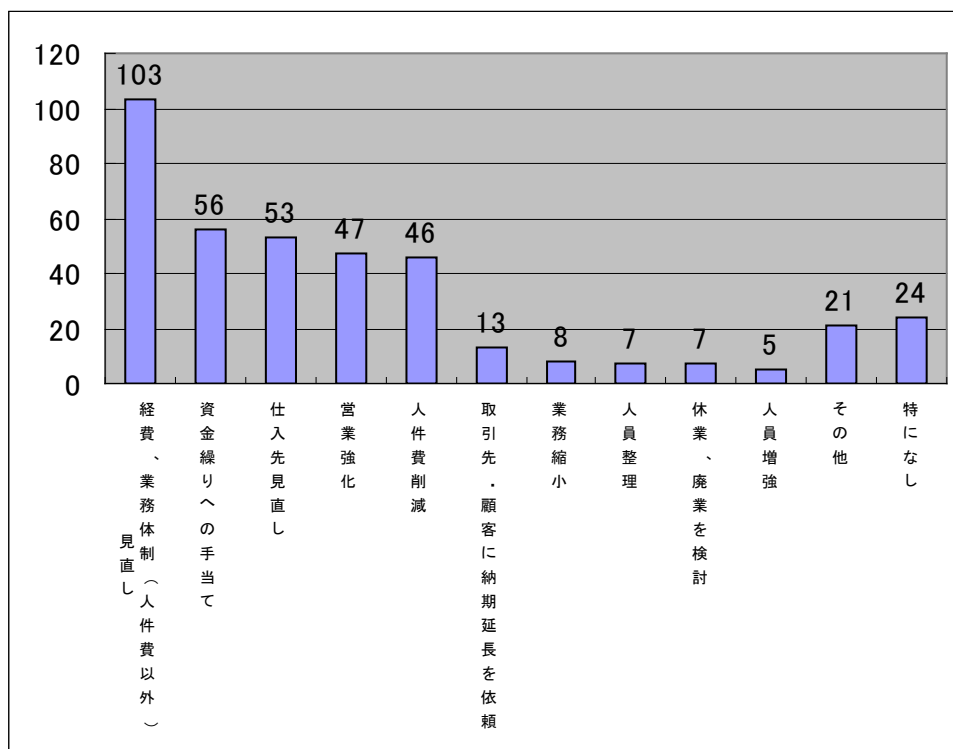
順位	項目	回答数
1	得意先都合や消費マインドの低下による売上減少	42
2	原材料や資材、部品などの価格上昇	16
2	販促キャンペーン・イベントの中止・延期による売上減少	16
2	原発事故の風評被害による売上減少	16

建設業

順位	項目	回答数
1	原材料や資材、部品などの価格上昇	18
2	得意先都合や消費マインドの低下による売上減少	15
3	原材料や資材、部品などの調達難、納期遅れ	9

質問7-3. 質問7で「影響あり」と回答した方にうかがいます。お答え頂いた影響への対応として、現在行っていること、また、検討している項目を選んでください。(複数回答可) <対象233件>

全業種合計では「経費、業務体制（人件費以外）見直し」が103件と最も多く、次いで「資金繰りへの手当て」が56件となった。業種別でも、製造業、商業・サービス業、建設業でそれぞれ「経費、業務体制（人件費以外）見直し」が最も多い回答となっている。



製造業

順位	項目	回答数
1	経費、業務体制(人件費以外)見直し	25
2	資金繰りへの手当て	15
3	仕入先見直し	13

商業・サービス業

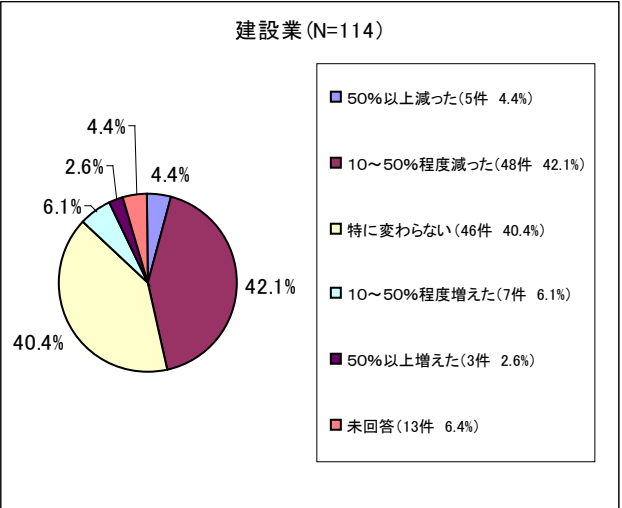
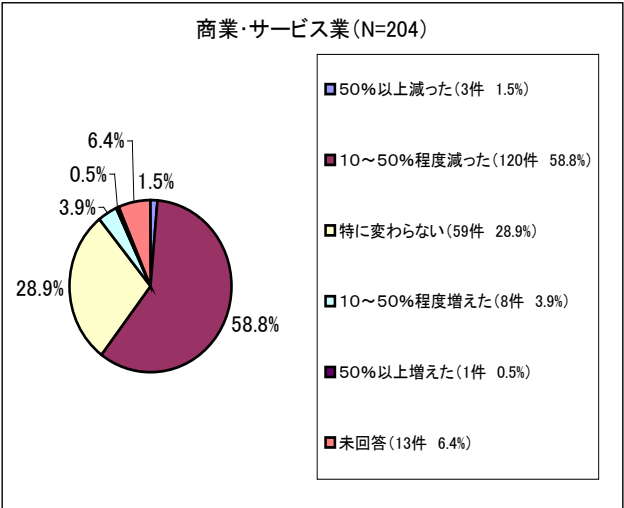
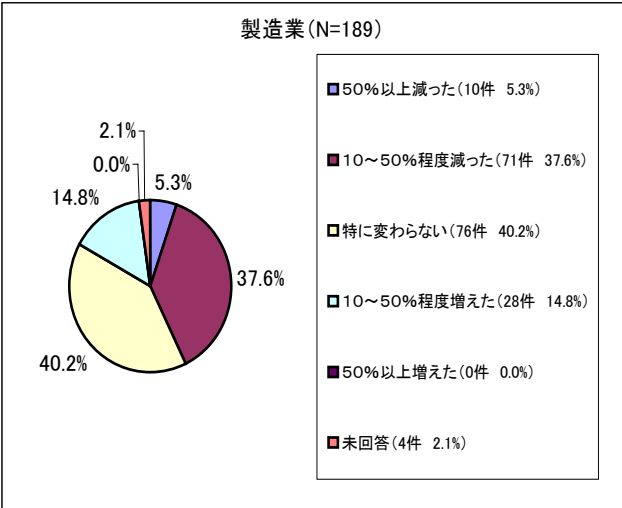
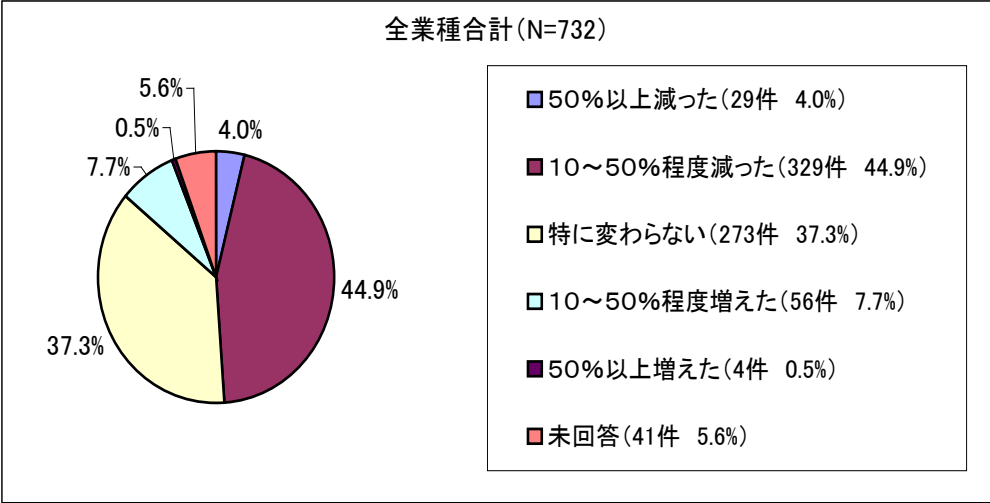
順位	項目	回答数
1	経費、業務体制(人件費以外)見直し	34
2	仕入先見直し	25
3	資金繰りへの手当て	16

建設業

順位	項目	回答数
1	経費、業務体制(人件費以外)見直し	16
2	資金繰りへの手当て	13
3	人件費削減	9

質問 8. 昨年のこの時期に比べ、売上にどのような影響が出ていますか？

全業種合計で「50%以上減った」「10～50%程度減った」が合わせて 48.9%となっており、およそ半数が昨年に比べて売上が減少したと回答している。業種別では、商業・サービス業で「50%以上減った」「10～50%程度減った」が合わせて 60.3%となっており、製造業と建設業に比べ、高い割合となっている。

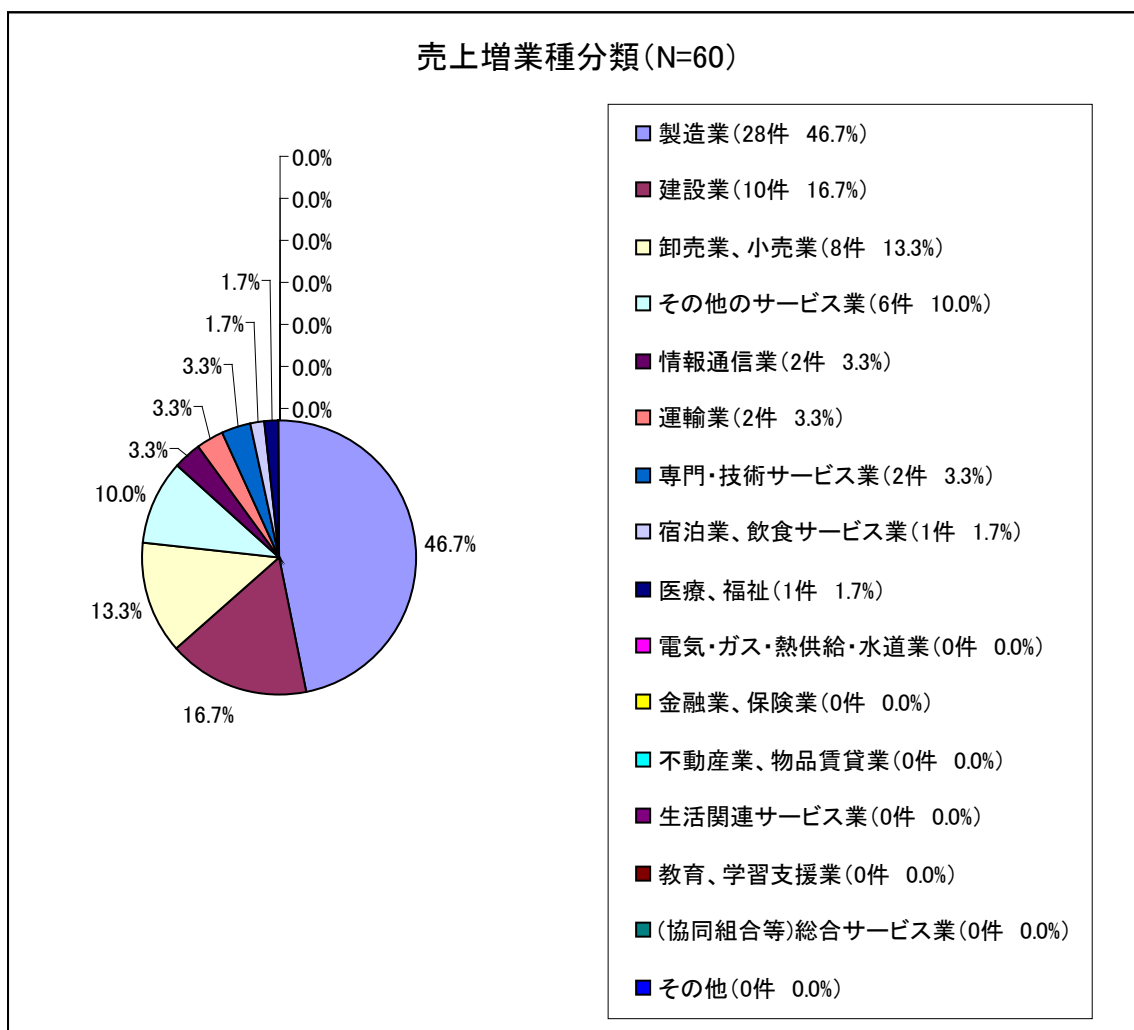
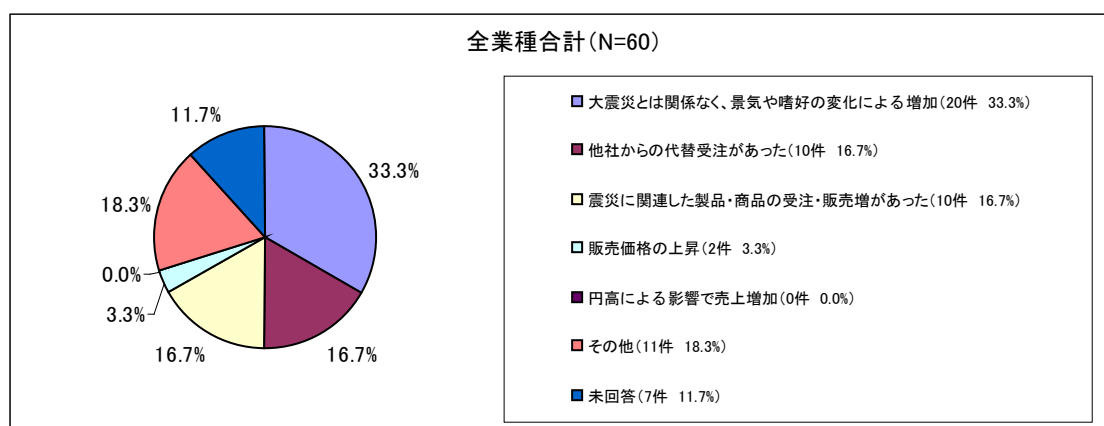


質問8-2. 質問8で売上が「増えた」または「減った」と回答した方にうかがいます。その理由は何だと思われますか？

<売上が増えた主な理由>

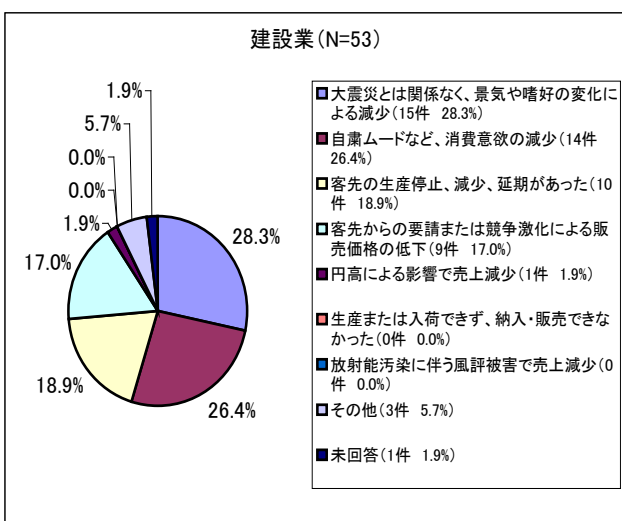
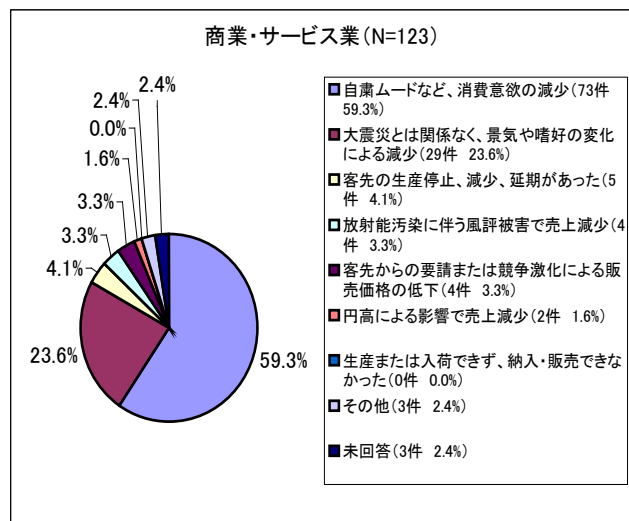
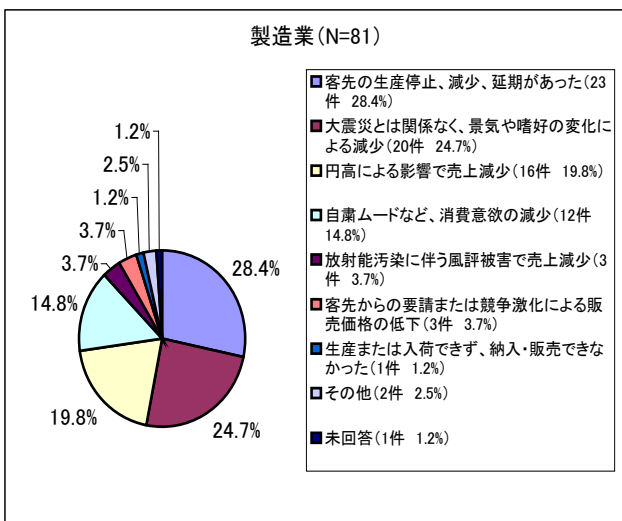
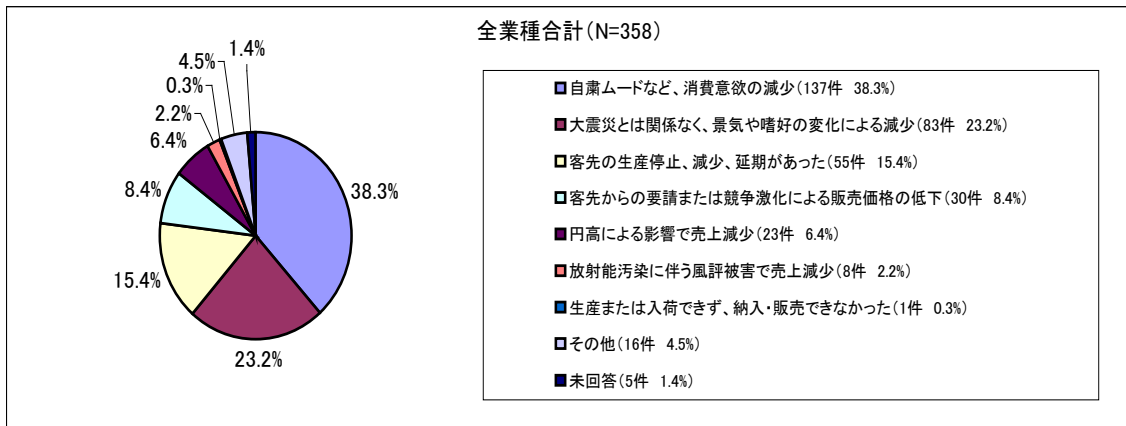
全業種合計で、売上増加の理由として「大震災とは関係なく、景気や嗜好の変化による増加」が33.3%と最も多く、次いで「他社からの代替受注があった」が16.7%、「震災に関連した製品・商品の受注・販売増があった」が16.7%となっている。

また、売上増加と回答した事業所の内訳として、製造業が46.7%と最も多い。



<売上が減った主な理由>

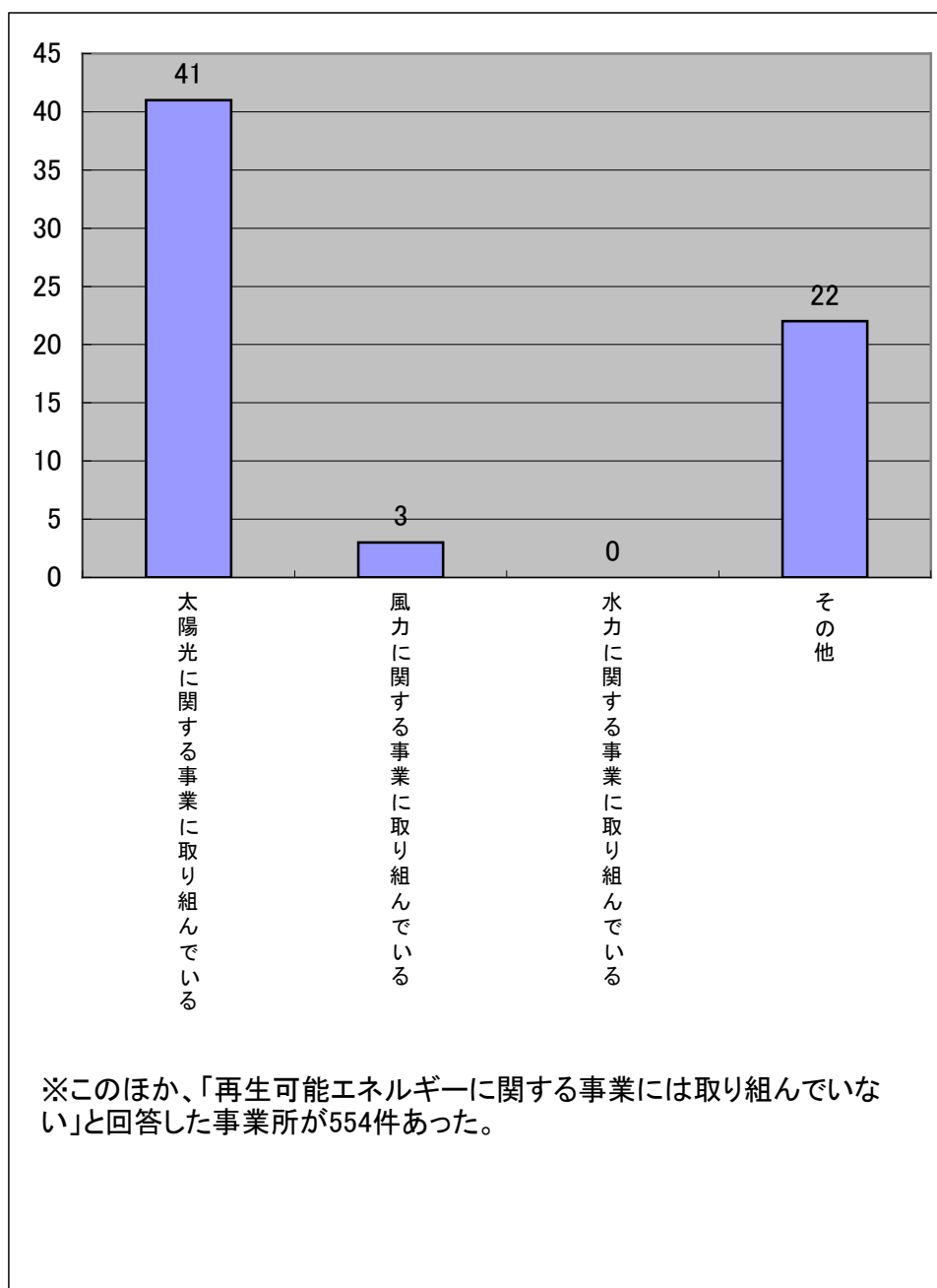
売上が減った理由として、全業種合計では「自粛ムードなど、消費意欲の減少」が 38.3%と最も多く、次いで「大震災とは関係なく、景気や嗜好の変化による減少」が 23.2%となった。業種別では、製造業で「客先の生産停止、減少、延期があった」が 28.4%、商業・サービス業で「自粛ムードなど、消費意欲の減少」が 59.3%、建設業で「大震災とは関係なく、景気や嗜好の変化による減少」が 28.3%とそれぞれ最も多い。



質問9. 現在、再生可能エネルギー（太陽光、風力、水力等）に関する事業に取り組んでいますか（複数回答可）

全業種合計で「太陽光に関する事業に取り組んでいる」と回答した事業所が41件あり、次いで「風力に関する事業に取り組んでいる」と回答した事業所が3件あった。

なお、「再生可能エネルギーに関する事業には取り組んでいない」と回答した事業所は554件あった。

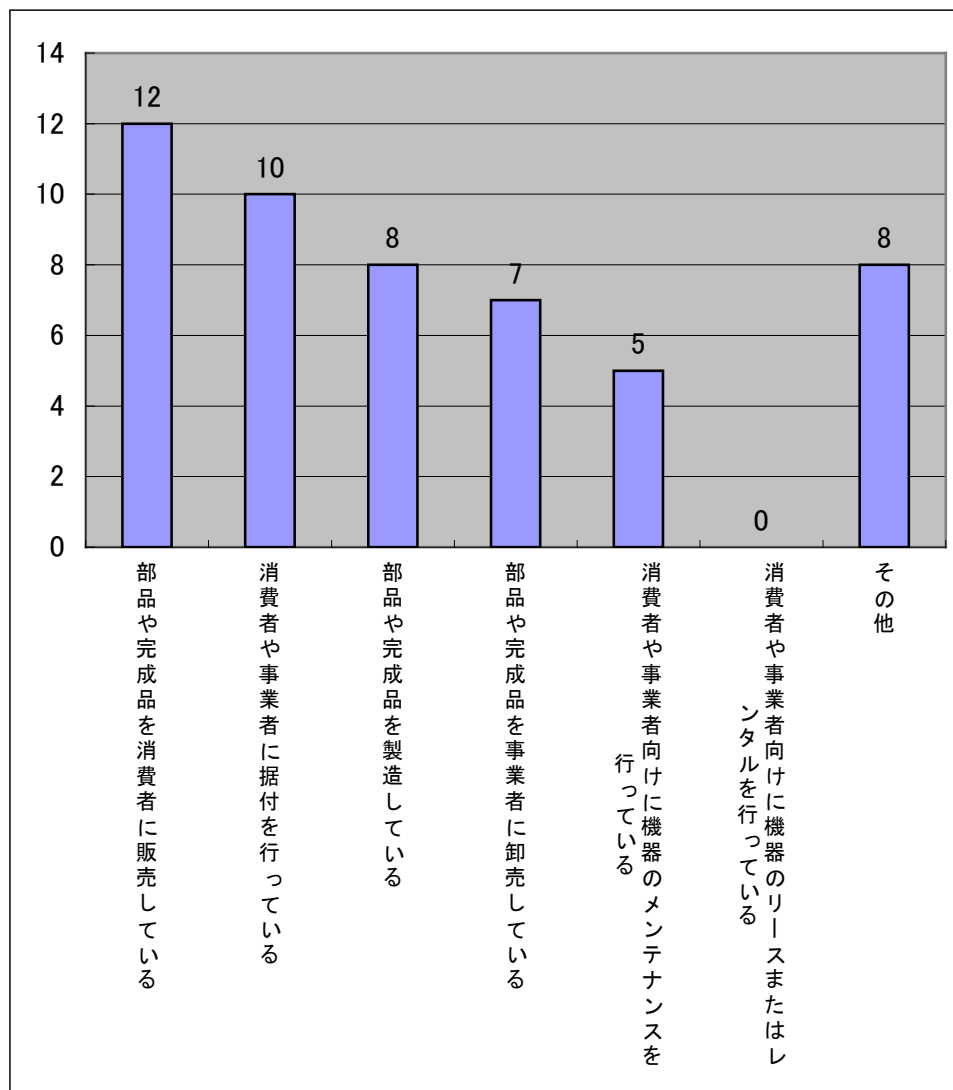


その他

- ・ バイオマス事業（運輸業）
- ・ 蓄電に関する製品の事業化（製造業） など

質問9-2. 質問9で「事業に取り組んでいる」と回答した方にうかがいます。事業の内容はどのようなものですか（複数回答可）〈対象 61 事業所〉

「部品や完成品を消費者に販売している」が12件と最も多く、次いで「消費者や事業者に据付を行っている」が10件となった。



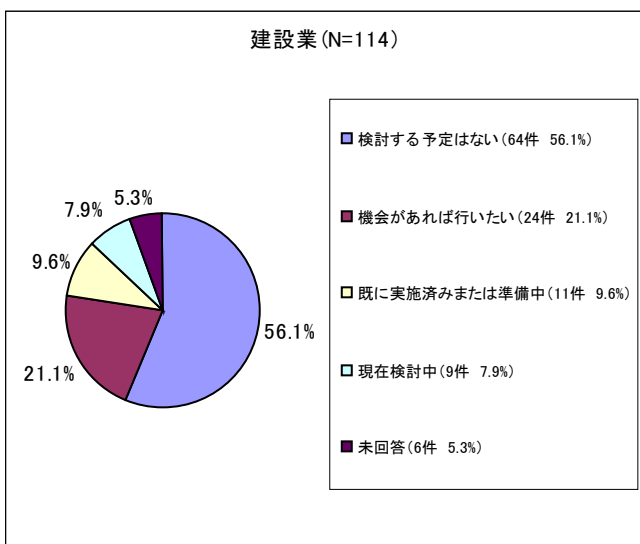
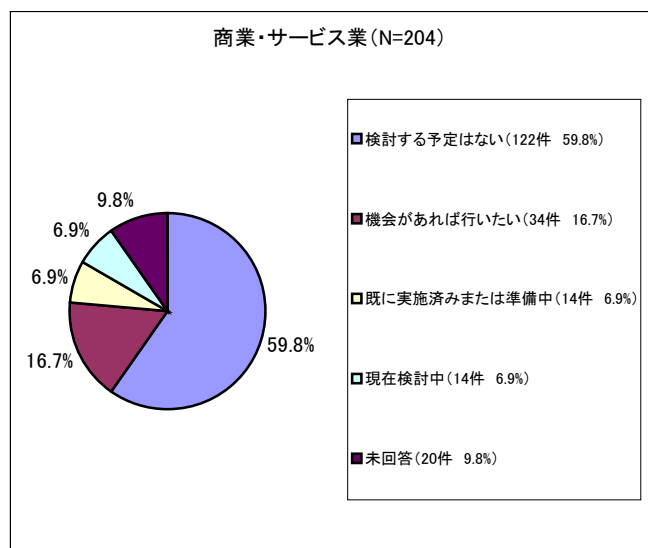
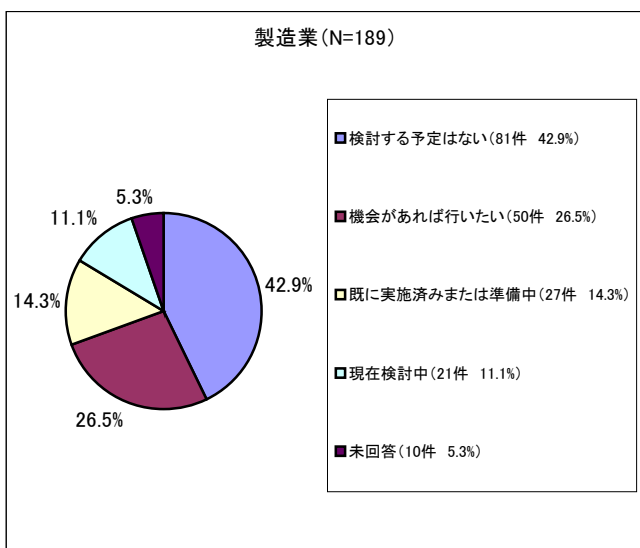
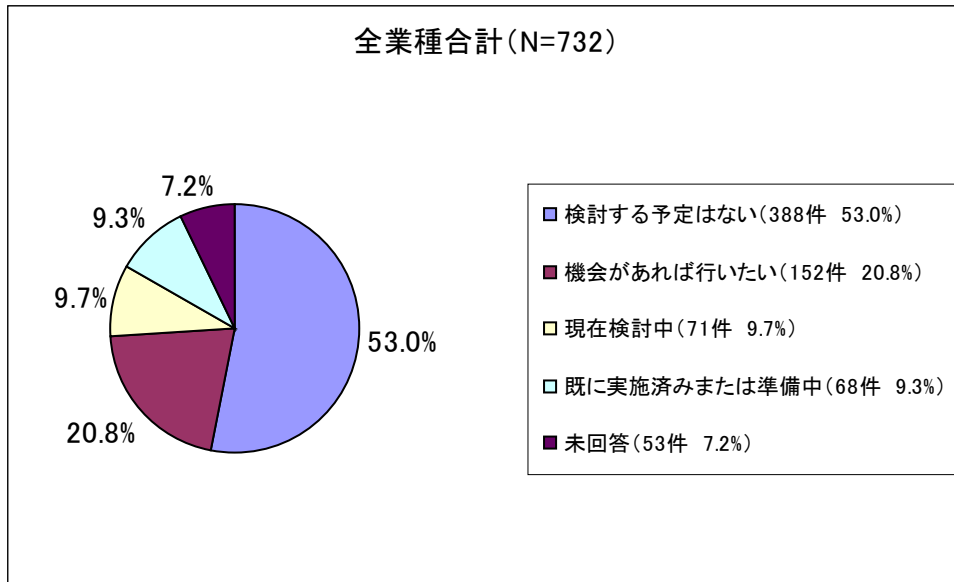
その他の例

- ・ 代理店をしている（卸売業、小売業）
- ・ 集荷、売電（運輸業） など

質問10. 最近1年間で、新規事業・新分野・異業種への進出を、検討または実施しましたか
(該当するもの1つに☑をお願いします)

全業種合計では「検討する予定はない」が53.0%と最も多く、次いで「機会があれば行いたい」20.8%となった。

業種別では、製造業で「機会があれば行いたい」「現在検討中」「既の実施済みまたは準備中」が合わせて51.9%と半数を超えている。



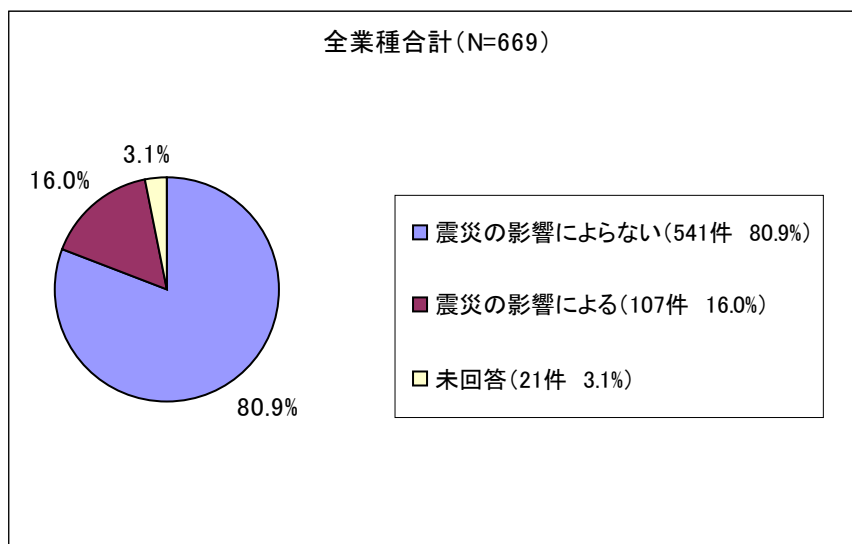
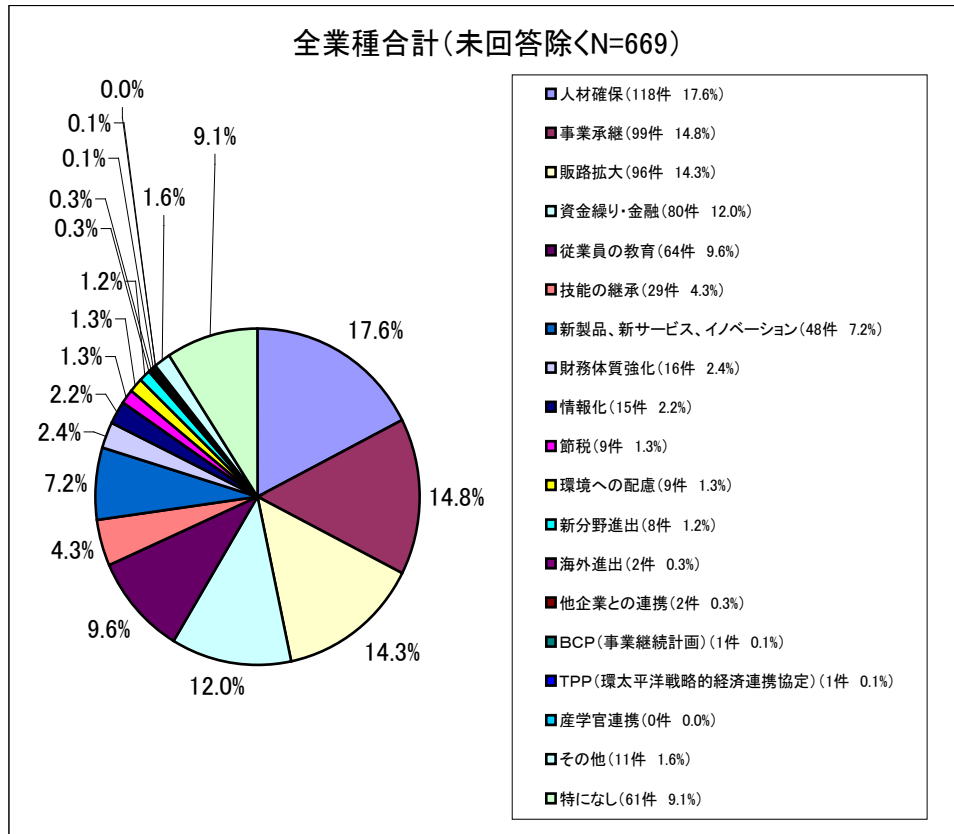
質問 1 1. 経営上の問題、課題について、上位 3 つまでを重要度の高い順にお答え下さい。(上位 3 つまで)

※大震災の影響により発生した課題があれば解答欄にチェックをお願いします。

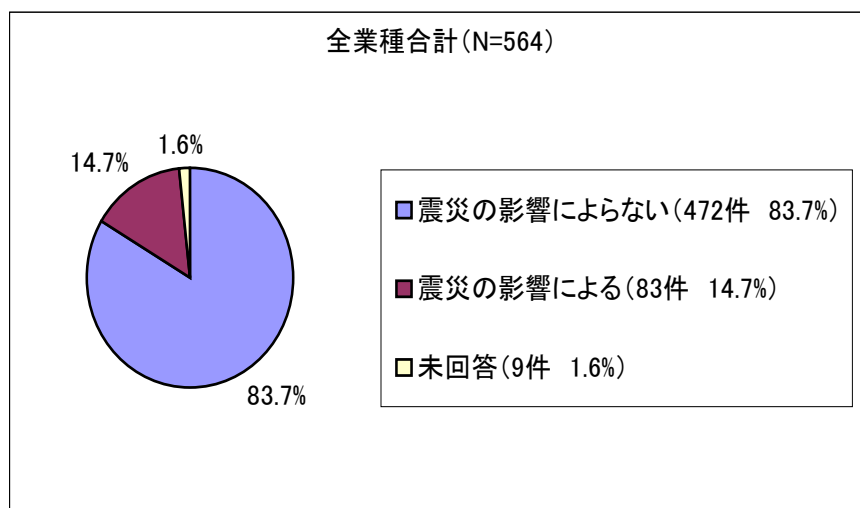
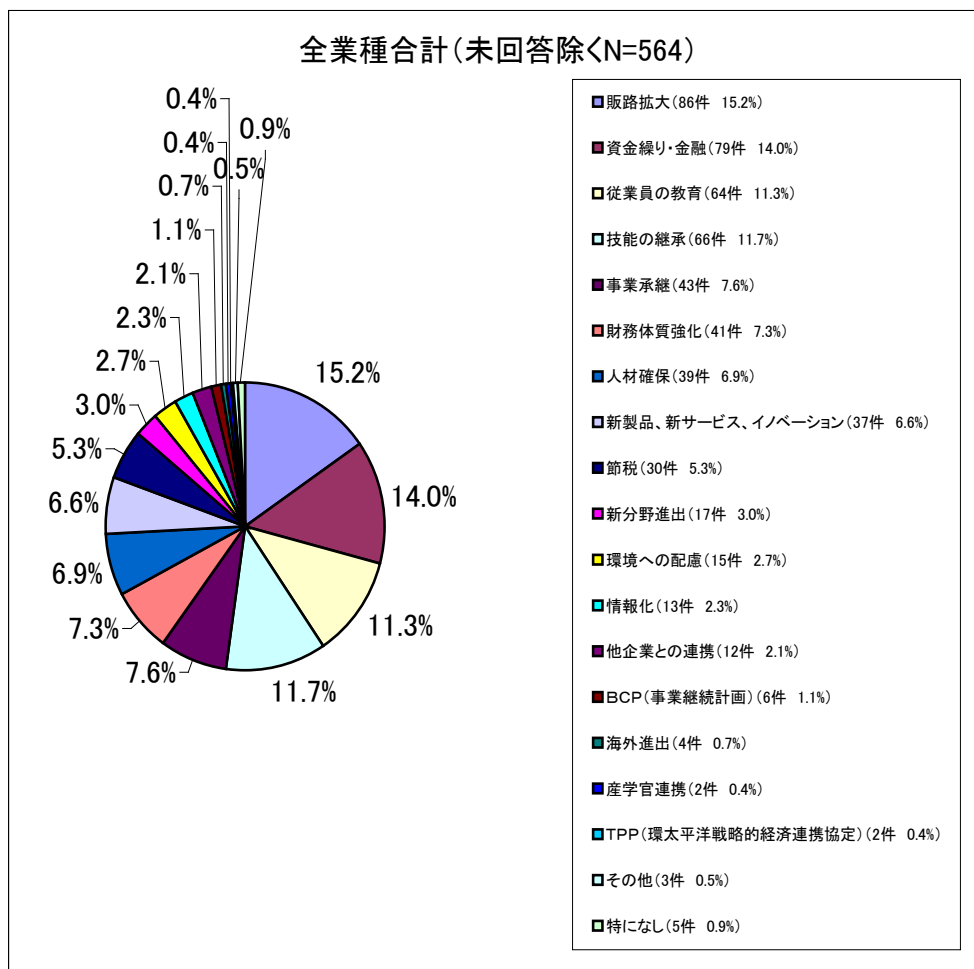
全業種合計では 1 位の回答として「人材確保」が、2 位と 3 位の回答で「販路拡大」がそれぞれ最も多かった。

なお、1 位、2 位、3 位の回答の合計では、「販路拡大」が 235 件と最も多く、次いで「資金繰り・金融」が 198 件となった。

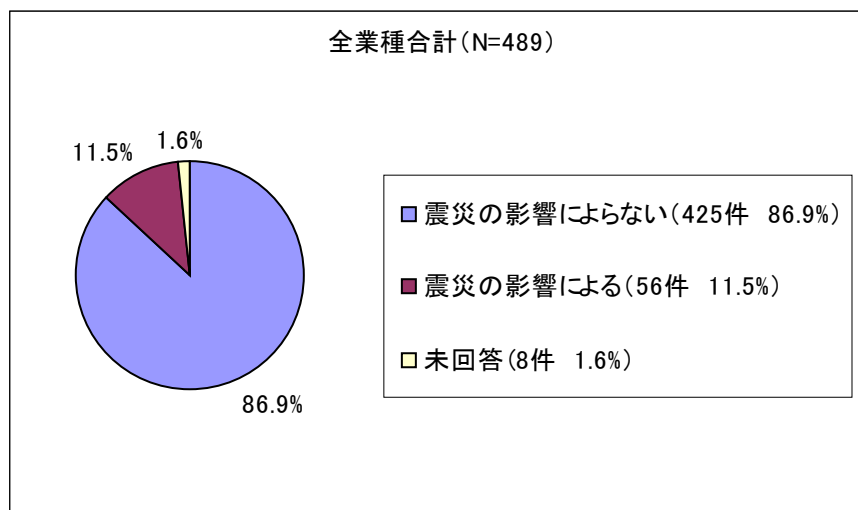
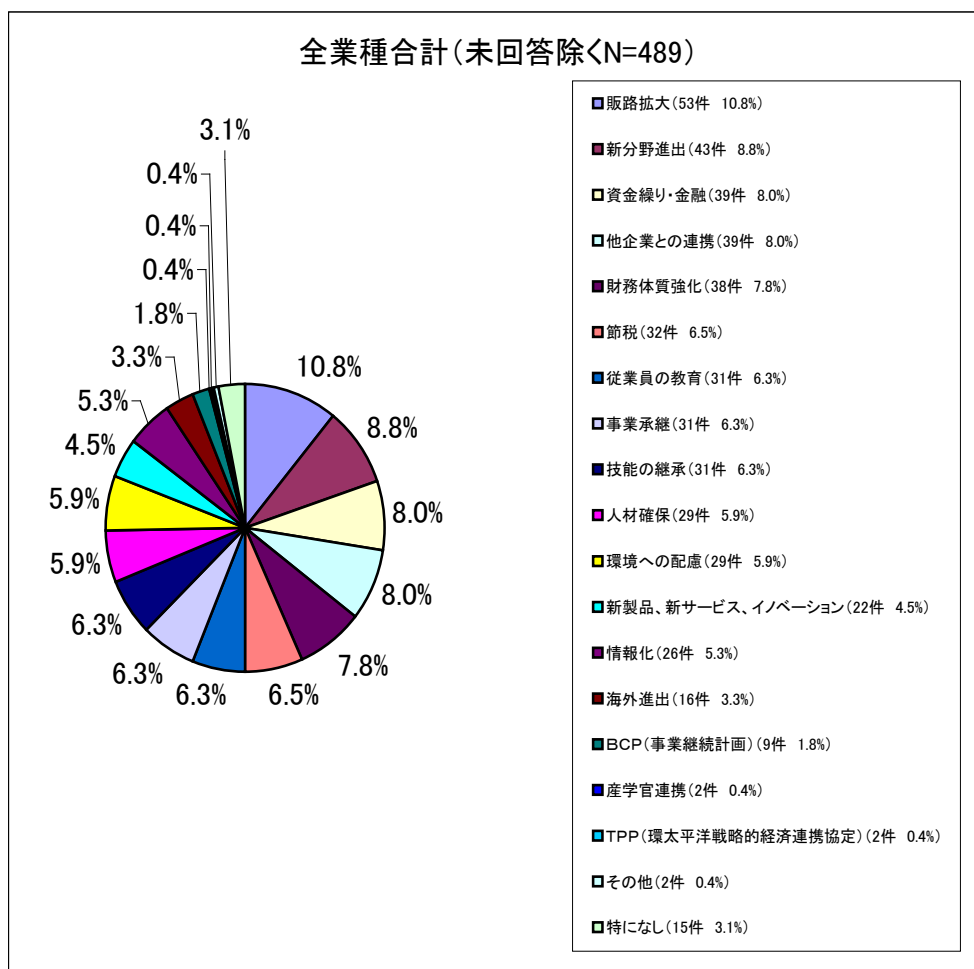
第 1 位



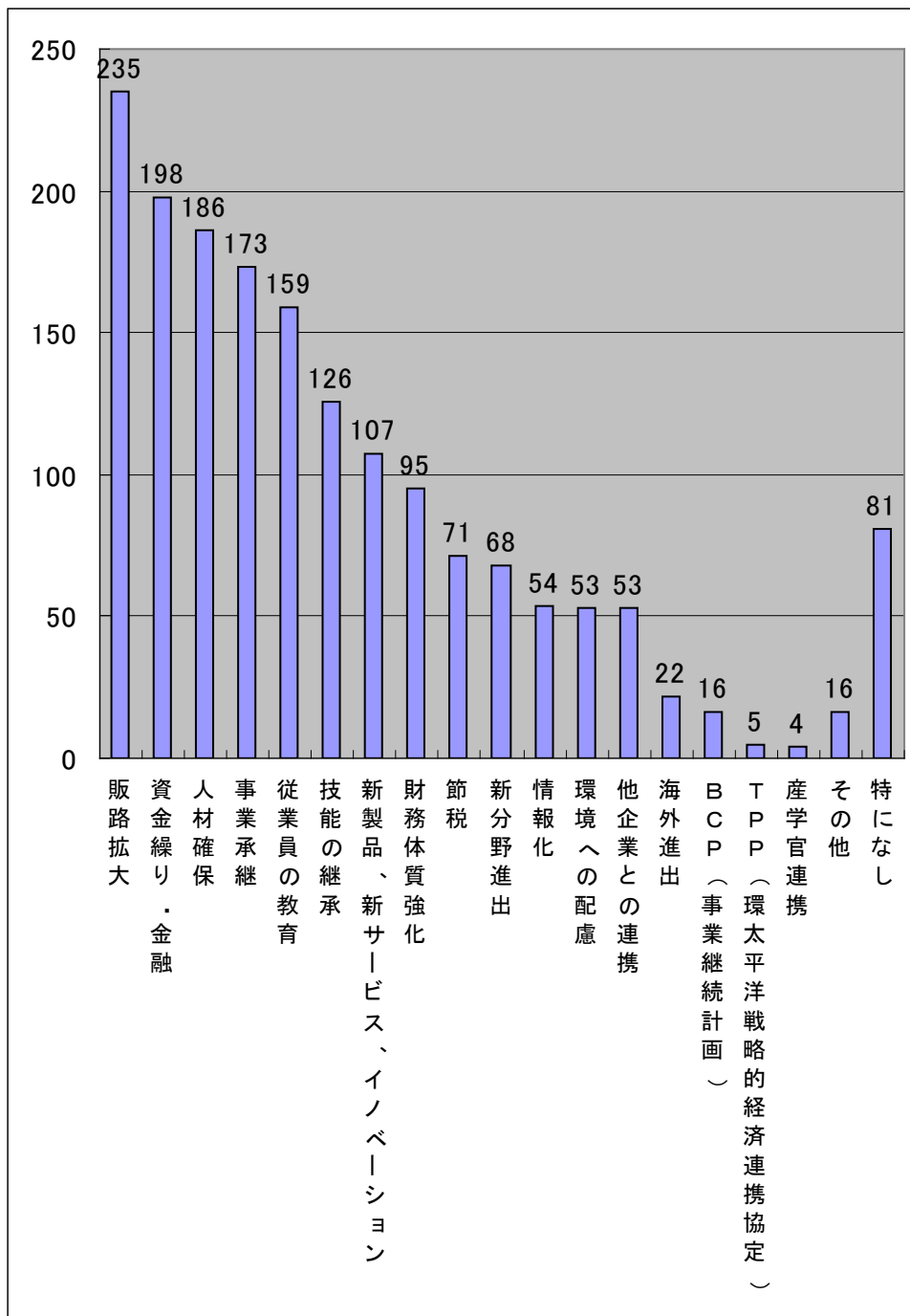
第 2 位



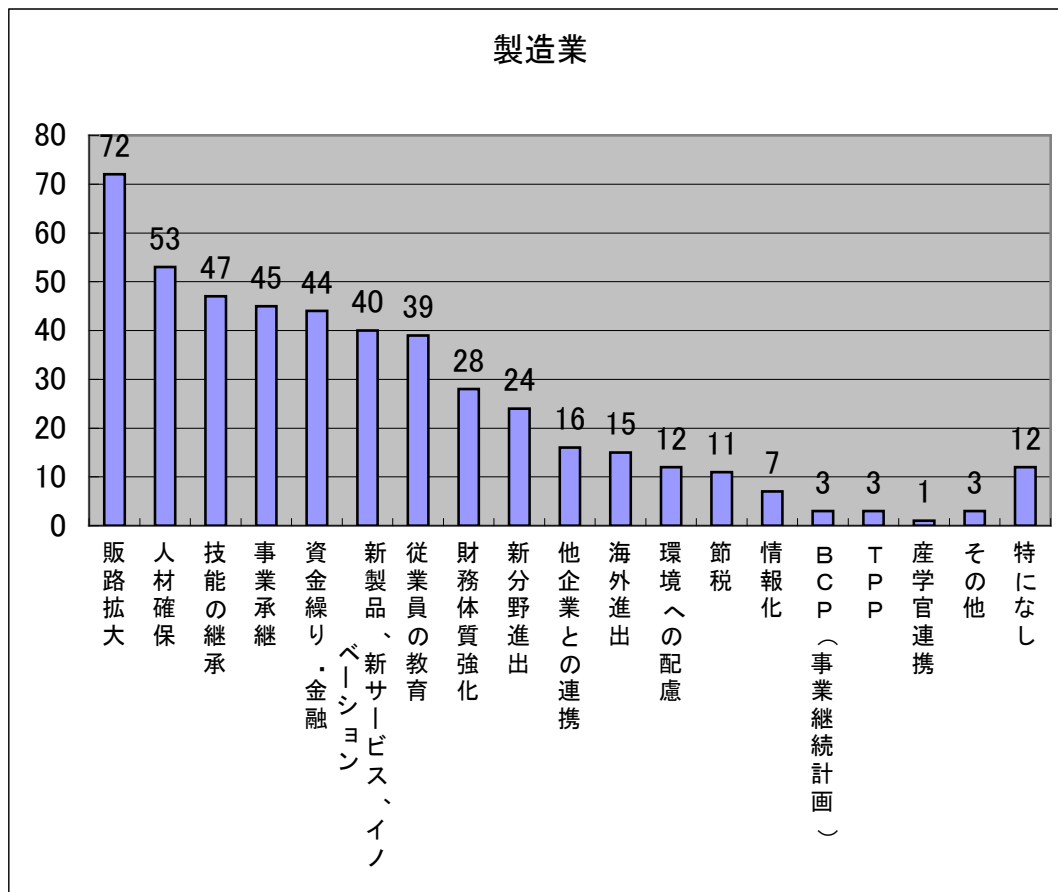
第3位



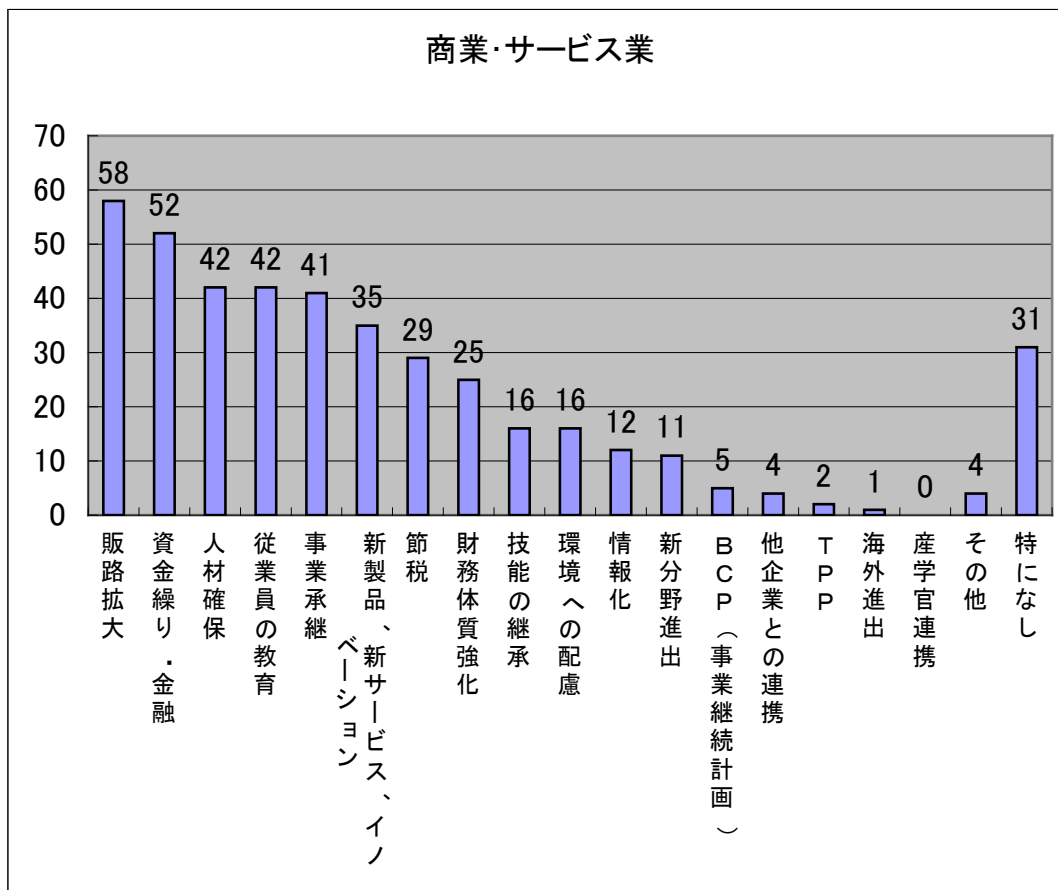
1位～3位合計



1位～3位合計（製造業）



1位～3位合計（商業・サービス業）



1位～3位合計（建設業）

